

事務事業名	障害者用誘導施設(点字ブロック)設置事業	担当部局	都市建設部
基本目標	第3章 美しいゆとりある快適環境と景観づくり(環境・都市基盤)	担当課名	土木課
施策体系	3活発な生活・都市活動を支える交通網の整備(道路・公共交通)	担当係名	管理係
施策	道路環境の整備		

1. 事業内容

事業本来の目的と具体的内容	インフラ政策をより充実させるため、駅南停車場線に障害者用の誘導施設(点字ブロック)を設置整備し、安心安全対策を図る。	
事業の期間(開始/終了)	平成19年 4月 / 平成22年 3月	
根拠法令、条例、規則など		
事業が対象としている人(モノ)	施設設置工事	
主な活動予定内容	障害者誘導施設設置に伴う実施設計業務の委託	
	障害者誘導施設設置工事	

2. 事業の評価

必要性: 3
緊急性: 3
妥当性: 5
適切性: 5
市民への影響度: 3

項目	説明
必要性	3 市民ニーズは確認していないが、一般的にはニーズが高いと思われる
	歩道はあるものの障害者用誘導施設がなく、安心安全対策を進めるうえで必要である。
緊急性	3 どちらも言えない(予測できない)
	対象者の生命を守るうえで緊急性は高い。
妥当性	5 役割分担を考えたが、行政以外には実施できない事業であると判断した
	市道整備の一環であり、行政で実施すべきものである。
適切性	5 代替案を検討し、この事業(方法)がもっとも適切であると判断した
	対象者には適切な対応である。
市民への影響度	3 目的とした対象者に対しては、概ね広く便益が提供される事業である
	対象者へは便益が提供され、市民への理解も得られる。
貢献度	3 効果が高まるものの、予算増等により若干効率性は低くなる恐れがある
	対象者への効果は高いが、予算の範囲内で実施するため、効率性が低い。

3. 事業の方向性

所管課長評価	
当該駅南停車場線は土地区画整理事業によるインフラ政策で基盤整備を施工した路線であるが、道路環境をより充実させるために障害者用の誘導施設(点字ブロック)を設置整備して、安心で安全な住環境を整備する。	
政策推進面からの評価(企画)	
安心で安全な住環境を整備を段階的に施行をするようだが、障害者を誘導する目的が重要である。まずは障害者が必要とする公共施設等へのアクセスを考えていると思われるが、利用度の高い道路から整備するために十分調整をし整備すべきと思う。途中で切れてしまうと逆に障害になる。	
財政面からの評価(財政)	
まちづくり交付金事業として、了解済み。ただし、補助事業であっても費用対効果を十分勘案し、経費の削減に努めること。	
決定権者判断	
予定通り要求	道路環境をより充実させるため必要な事業であり、厳しい財政事情を踏まえ、安心で安全な住環境を整備する。